

ECONOMY TOPICS

経済トピックス

2019.7.31

No.458



業況 BSI 2 期ぶり上昇も、二桁マイナス継続 (2019 年 4～6 月期の県内企業業況調査結果)

調査内容 2019 年 4～6 月期の県内企業の業況実績
2019 年 7～9 月期の県内企業の業況見通し

調査時期 2019 年 7 月上旬

調査対象企業 県内中堅企業 319 社

回答企業 239 社 (回収率:74.9%)

{ 製造業 58 社 建設業 45 社 卸売業 52 社
小売業 30 社 運輸業・サービス業 54 社
青森地区 87 社 津軽地区 69 社 県南地区 83 社

BSI とは

Business Survey Index の略であり、企業業況判断指標という意味である
指標の求め方は次の通り

BSI = 「業況良好企業及びやや良好企業の割合」 - 「業況不振企業及びやや不振企業の割合」

注:業況判断は前年同期との比較による

1. 2019年4～6月期の業況

(1) 業況 — 2期ぶり上昇も、二桁マイナス継続 —

2019年4～6月期の全産業「業況BSI」は前期比0.8ポイント上昇の△12.2と2期ぶりに上昇したものの、二桁マイナスは継続している。

業況判断の内訳をみると、業況好転とした企業の割合が同0.1ポイント増加の22.7%、業況悪化とした企業の割合は同0.8ポイント減少の34.9%となった。

産業別の「業況BSI」をみると、製造業が前期比10.9ポイント上昇の△15.5となった。金属製品、電子部品・デバイスで悪化がみられたものの、パルプ・紙、木材、生コン、非鉄金属、精密機械で好転割合が増加した。

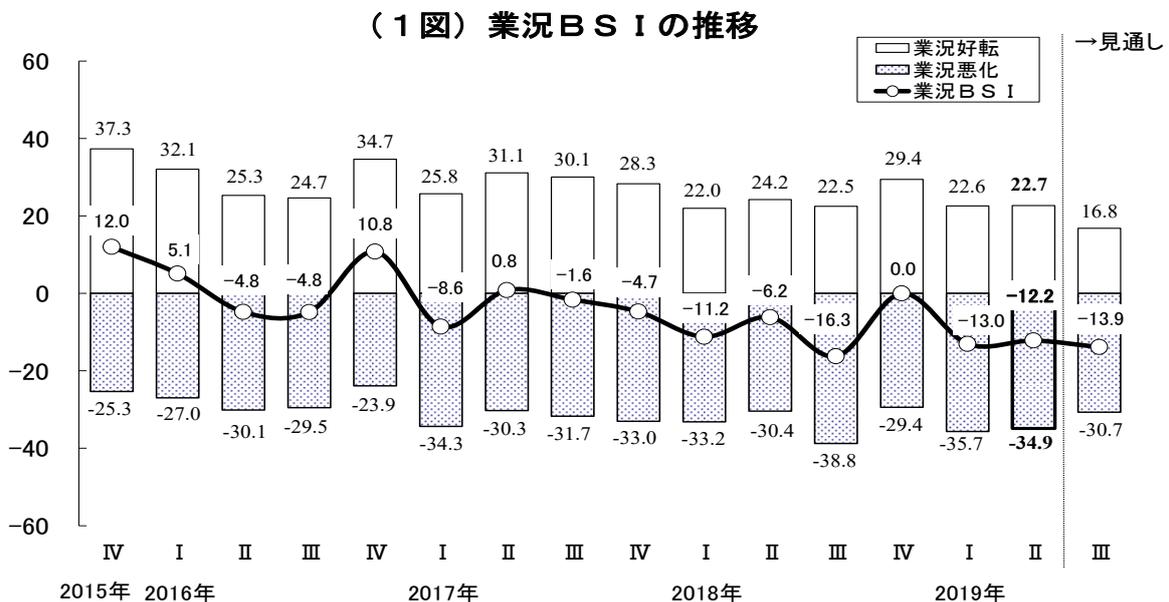
非製造業は、卸売業と運輸・サービス業

で好転した。卸売業が前期比15.0ポイント上昇の△5.8、運輸・サービス業が同9.8ポイント上昇の5.6となった。一方、建設業は同27.5ポイント低下の△22.7、小売業は同18.6ポイント低下の△33.3だった。

卸売業は、飲食料品と建築材料などで好転割合が増加した。運輸・サービス業は、鉄道、道路旅客運送などで悪化割合が減少したほか、宿泊で好転割合がやや広がった。

一方、建設業は総合工事、職別工事で好転割合が減少、設備工事で悪化割合が増加した。小売業は、家具でやや好転があったものの、自動車で悪化割合が増加し、書籍、家電などで悪化がみられた。

(以上、1図、付表 参照)



(付表) 産業別業況BSIの推移

	製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス	合計
2018年 4 - 6 月期	-13.5	5.0	-9.4	-29.0	9.8	-6.2
7 - 9 月期	-12.5	4.7	-31.6	-43.8	-3.8	-16.3
10 - 12 月期	-10.7	2.4	5.7	-17.2	13.7	0.0
2019年 1 - 3 月期	-26.4	4.8	-20.8	-14.7	-4.2	-13.0
4 - 6 月期	-15.5	-22.7	-5.8	-33.3	5.6	-12.2
来期見通し	-8.6	-37.8	-19.2	-20.0	9.4	-13.9

(2) 採算の状況 —「採算BSI」2期ぶりに上昇—

2019年4～6月期の全産業「採算BSI」は2期ぶりに上昇し、前期比0.6ポイント上昇の△10.0となった。

採算判断の内訳をみると、採算好転とした企業の割合は同1.2ポイント増加の10.0%、一方、採算悪化とした企業の割合は同0.7ポイント減少の20.1%となった。

産業別の「採算BSI」をみると、製造業は前期比10.7ポイント上昇の△10.5となった。食料品、衣服、木材、パルプ紙などで好転がみられた。

非製造業は、建設業、運輸・サービス業、小売業で悪化した。建設業が前期比8.6ポ

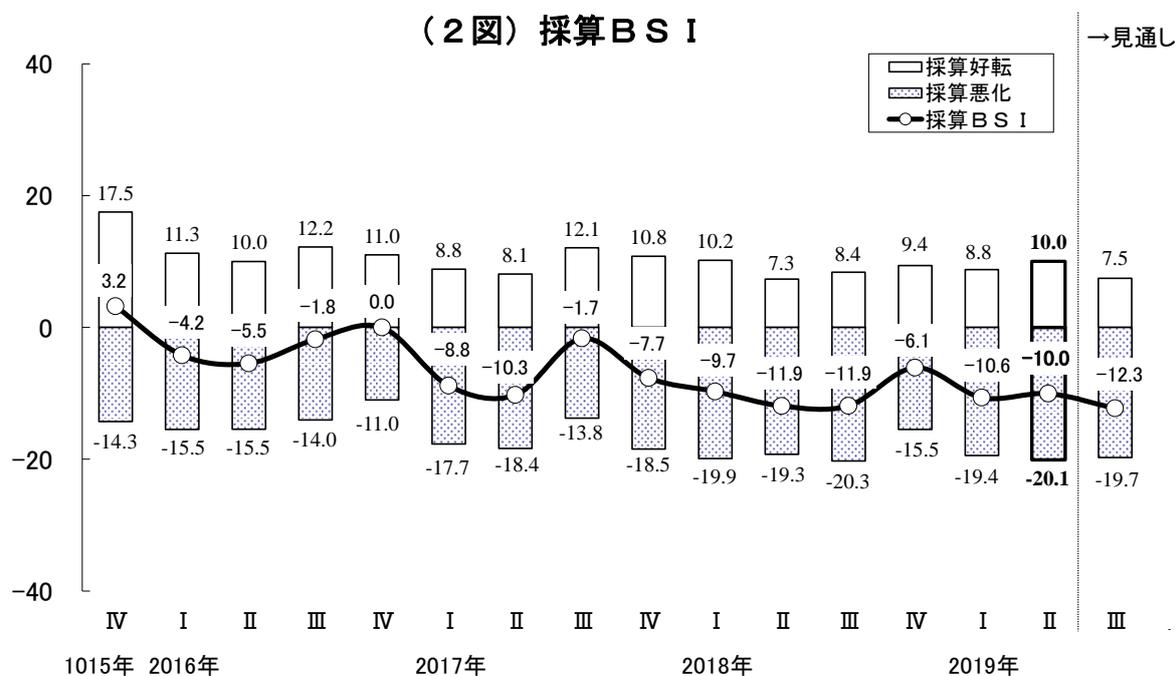
イント低下の△18.6、運輸・サービス業が同4.1ポイント低下の△4.1、小売業が同2.5ポイント低下の△20.7となった。

一方、卸売業は同2.0ポイント上昇の△2.0となった。

建設業は、総合工事で悪化割合が減少したものの、職別工事、設備工事で悪化割合が増加した。運輸・サービス業は、不動産賃貸で好転割合が減少した。小売業は自動車で悪化割合が幾分増加した。

一方、卸売業は、紙や水産物などで好転がみられた。

(以上2図、付表 参照)



(付表) 産業別採算BSIの推移

	製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス	合計
2018年 4 - 6 月期	-11.8	-5.3	-11.8	-20.0	-12.5	-11.9
7 - 9 月期	-16.1	0.0	-14.5	-24.1	-6.5	-11.9
10 - 12 月期	-18.9	5.3	-2.0	-7.7	-4.3	-6.1
2019年 1 - 3 月期	-21.2	-10.0	-4.0	-18.2	0.0	-10.6
4 - 6 月期	-10.5	-18.6	-2.0	-20.7	-4.1	-10.0
来期見通し	-8.8	-23.8	-4.0	-27.6	-6.0	-12.3

(3) 生産高・操業度の状況 —「生産高 BSI」、「操業度 BSI」とも 2 期ぶり低下—

2019 年 4～6 月期の製造業の「生産高 BSI」は前期比 11.7 ポイント低下の△17.5 と、2 期ぶりに低下した。

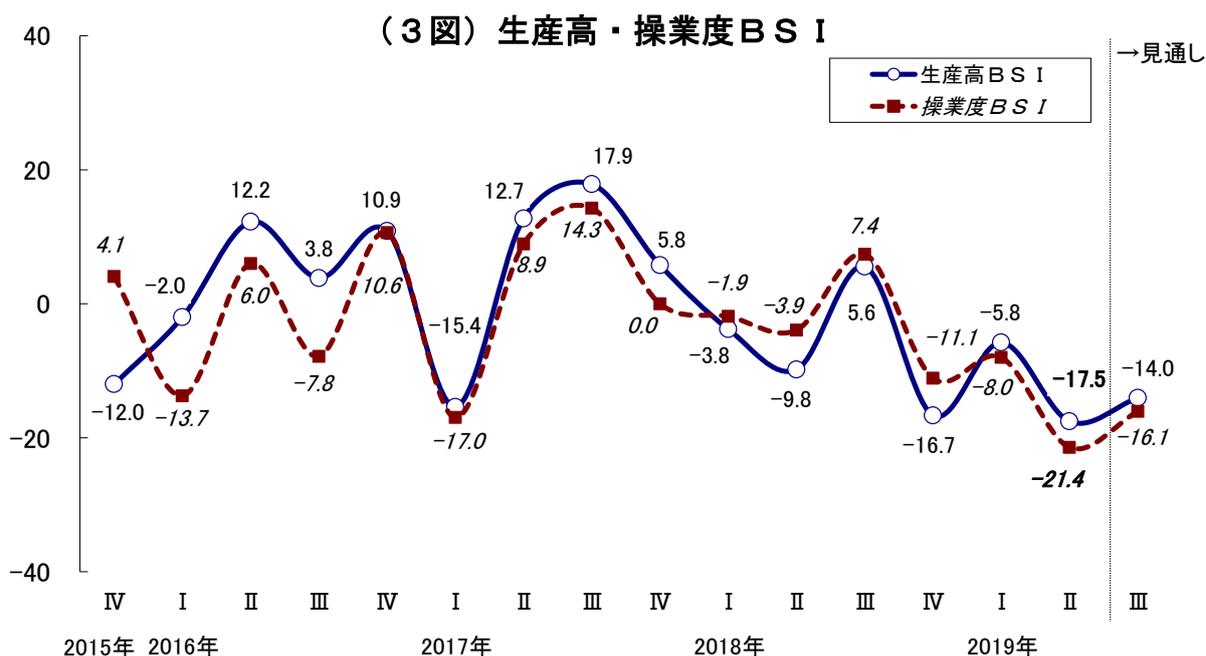
「操業度 BSI」は同 13.4 ポイント低下の△21.4 と、2 期ぶりに低下した。

電子部品・デバイス、金属製品、飲料、食

料品などで、減産となったほか稼働率も低下した。

来期は「生産高 BSI」が当期比 3.5 ポイント上昇の△14.0、「操業度 BSI」が同 5.3 ポイント上昇の△16.1 となる見通しである。

(以上、3 図 参照)



(4) 受注高の状況 —「受注高 BSI」2 期ぶり低下—

2019 年 4～6 月期の建設業の「受注高 BSI」は前期比 51.1 ポイント大幅低下の $\Delta 38.6$ となり 2 期ぶりに低下した。

内訳をみると、受注増加とした企業の割合が同 23.4 ポイント減少の 9.1%、一方、受注減少とした企業の割合は同 27.7 ポイント増加の 47.7%となった。

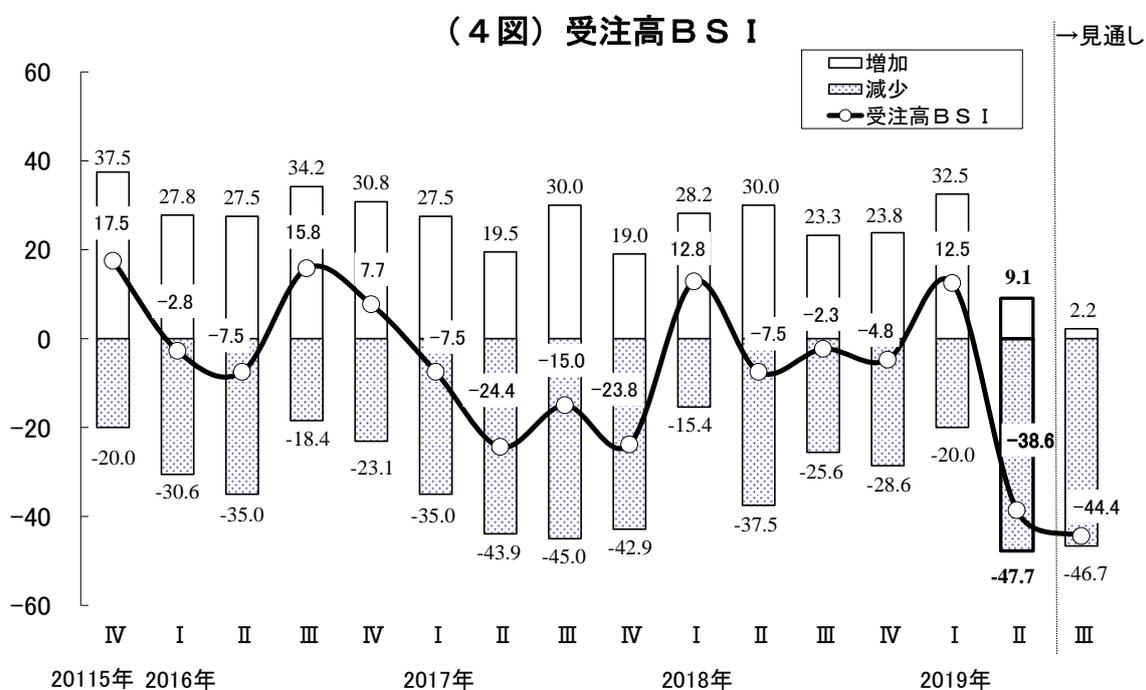
当期は、総合工事で受注減少の割合が

大幅に増加したほか、職別工事、設備工事でも受注減少の割合が広がった。

来期の「受注高 BSI」は当期比 5.8 ポイント低下の $\Delta 44.4$ となる見通しである。

内訳をみると、受注増加とする割合が当期比 6.9 ポイント減少の 2.2%、受注減少を見込む割合が同 1.0 ポイント減少の 46.7%となっている。

(以上、4 図 参照)



(5) 売上高・出荷高の状況－「売上高BSI」、「出荷高BSI」とも2期ぶり上昇

2019年4～6月期の「売上高BSI」は、前期比7.7ポイント上昇の△4.4となり、2期ぶりに上昇した。

産業別の「売上高BSI」をみると、卸売業が前期比17.4ポイント上昇の△3.8、運輸・サービス業が同2.9ポイント上昇の9.3となった。一方、小売業は同5.8ポイント低下の△30.0となった。

卸売業は、建築材料、機械器具、水産物、医療用機械で売上の増加がみられた。運輸・サービス業は、鉄道、宿泊で増加がみられた。一方、小売業は、自動車などで減少した。

なお、来期の「売上高BSI」は、全体では当期比4.4ポイント低下の△8.8となる見通

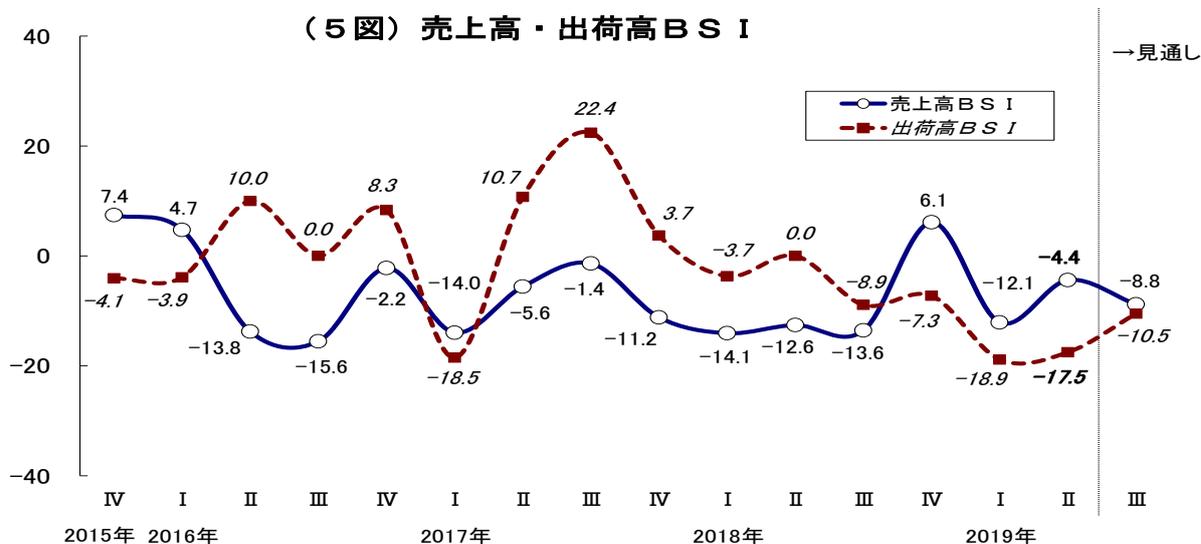
しである。卸売業は、建築材料で減少が見込まれる。一方、小売業は、家具で増加が見込まれる。運輸・サービス業は、情報サービスや宿泊などで減少割合の低下が見込まれる。

2019年4～6月期の「出荷高BSI」は前期比1.4ポイント上昇の△17.5と2期ぶりに上昇した。

金属製品、電子部品・デバイスなどで出荷減少がみられたものの、パルプ・紙、生コン、非鉄金属、精密機械などで出荷増加がみられた。

来期の「出荷高BSI」は、当期比7.0ポイント上昇の△10.5となる見通しである。

(以上、5図、付表 参照)



(付表) 売上高・出荷高BSIの推移

	出荷高BSI	売上高BSI			
	製造業	卸売業	小売業	運輸・サービス	
2018年 4 - 6 月期	0.0	-18.9	-32.3	5.9	-12.6
7 - 9 月期	-8.9	-26.3	-21.9	5.9	-13.6
10 - 12 月期	-7.3	3.8	0.0	12.0	6.1
2019年 1 - 3 月期	-18.9	-21.2	-24.2	6.4	-12.1
4 - 6 月期	-17.5	-3.8	-30.0	9.3	-4.4
来期見通し	-10.5	-19.2	-26.7	11.1	-8.8

(6) 価格の状況—「仕入単価 BSI」と「販売単価 BSI」の乖離幅、3期連続縮小—

2019年4～6月期の「仕入単価 BSI」は前期比11.5ポイント低下の29.8となり、3期連続で低下した。

産業別にみると、製造業が同21.8ポイント低下の29.1、非製造業は同6.9ポイント低下の30.1となった。

製造業は、食料品、飲料、プラスチック製品、生コンなどの業種で低下がみられた。

非製造業は、小売業が前期比12.2ポイント低下の22.2、建設業が同11.9ポイント低下の27.0、卸売業が同0.6ポイント低下の36.7となった。

小売業は飲食料品と一般機械で低下がみられた。建設業は設備工事や総合工事で上昇割合が減少した。卸売業は、飲食料品で低下がみられた。

2019年4～6月期の「販売単価 BSI」は前期比6.3ポイント低下の7.2と2期ぶりに低下した。

産業別にみると、製造業が同0.6ポイント低下の7.1、非製造業は同8.1ポイント低下

の7.2となった。

製造業は、生コン、精密機械などで販売単価の低下がみられた。

非製造業は、小売業が前期比31.2ポイント低下の△10.0、建設業が同14.1ポイント低下の△11.1、卸売業が同1.2ポイント低下の18.0となった。一方、運輸・サービス業は同4.4ポイント上昇の20.0となった。

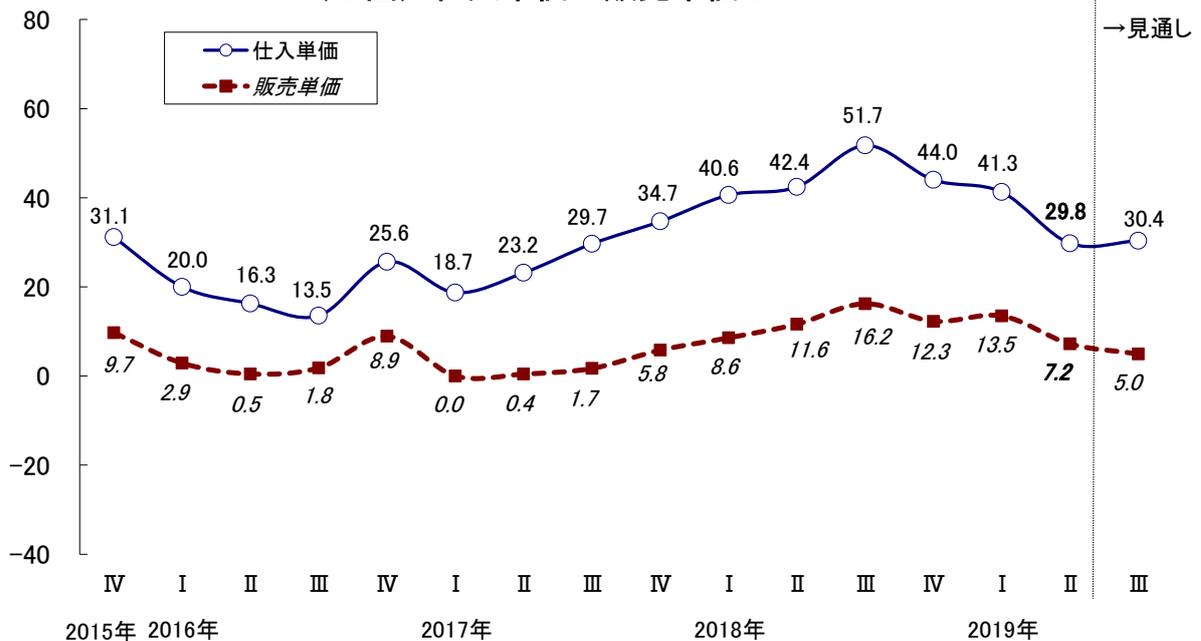
小売業は、自動車、家具などで低下した。建設業は、総合工事、職別工事、設備工事で低下割合が増加した。卸売業は、青果物で低下がみられた。一方、運輸・サービス業は、宿泊で上昇がみられた

当期は、「仕入単価 BSI」と「販売単価 BSI」との乖離幅が3期連続で縮小した。

なお、来期については、「仕入単価 BSI」が当期比0.6ポイント上昇の30.4、「販売単価 BSI」が同2.2ポイント低下の5.0となり、両単価の乖離は幾分拡大する見通しである。

(以上、6図、付表 参照)

(6図) 仕入単価・販売単価 BSI



(付表) 仕入単価BSIの推移 (上昇-低下)

	製造業	非製造業			仕入単価 BSI	
		建設業	卸売業	小売業		
2018年 4 - 6 月期	51.9	23.5	44.0	44.8	38.1	42.4
7 - 9 月期	55.4	43.2	58.2	42.3	50.0	51.7
10 - 12 月期	51.8	39.5	44.2	34.5	40.3	44.0
2019年 1 - 3 月期	50.9	38.9	37.3	34.4	37.0	41.3
4 - 6 月期	29.1	27.0	36.7	22.2	30.1	29.8
来期見通し	37.0	34.2	26.5	18.5	27.2	30.4

(付表) 販売単価BSIの推移 (上昇-低下)

	製造業	非製造業				販売単価 BSI	
		建設業	卸売業	小売業	運輸・ サービス		
2018年 4 - 6 月期	11.8	-12.1	21.2	6.5	20.8	11.6	11.6
7 - 9 月期	16.1	-2.8	25.0	21.9	16.7	16.3	16.2
10 - 12 月期	14.5	-2.6	26.9	17.9	2.1	11.5	12.3
2019年 1 - 3 月期	7.7	3.0	19.2	21.2	15.6	15.3	13.5
4 - 6 月期	7.1	-11.1	18.0	-10.0	20.0	7.2	7.2
来期見通し	14.5	-8.1	8.0	-13.3	12.0	1.8	5.0

(7) 在庫投資・在庫水準の状況－製造業手控え、非製造業積み増し－

2019年4～6月期の「在庫投資BSI」は、製造業が前期比 11.8 ポイント低下の△19.3、非製造業は同 5.6 ポイント上昇の 8.0 となった。

製造業は、飲料で積み増しの動きがみられたものの、食料品、印刷、生コン、金属製品、一般機械、精密機械、造船などで手控えの動きがみられた。

非製造業をみると、卸売業では青果物、食料品、建築材料などで、小売業では、家具などで積み増しの動きがみられた。

来期の「在庫投資BSI」は、製造業が当期比 12.3 ポイント上昇の△7.0 と積み増しの動きがみられ、非製造業は同 9.4 ポイント

低下の△1.4 と手控えの動きがみられる。

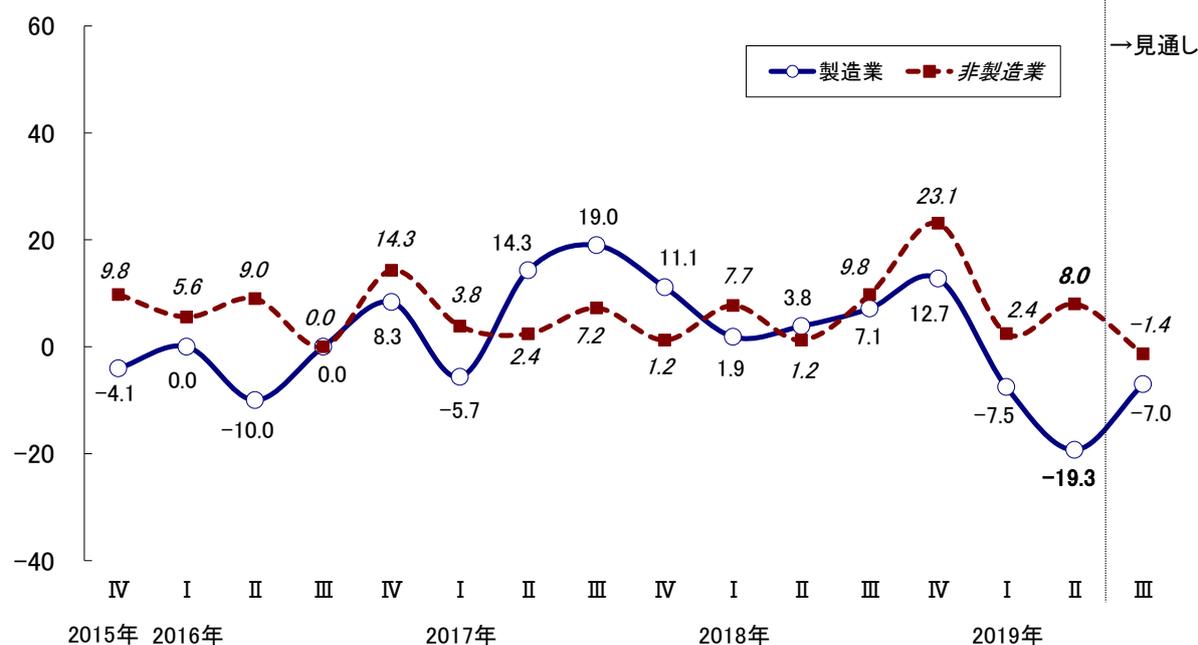
2019年4～6月期の「製品・商品在庫水準BSI」は、製造業が前期比 9.2 ポイント上昇の 3.4、卸・小売業は同 6.3 ポイント上昇の 24.0 となった。

製造業では、食料品、飲料、一般機械で上昇がみられた。卸売業では、青果物、飲食料品などで上昇がみられた。小売業では、飲食料品などで上昇がみられた。

来期は、製品では、食料品、飲料、木材などで、商品では、飲食料品などで不足感がみられるものの、ほぼ適正水準が見込まれる。

(以上、7図、付表 参照)

(7図) 在庫投資BSI (製造業、非製造業)



(付表) 在庫関連BSIの推移

	在庫投資BSI		製品・商品在庫水準BSI	
	製造業	非製造業	製造業	卸・小売業
2018年 4－6月期	3.8	1.2	0.0	7.7
7－9月期	7.1	9.8	-8.9	3.7
10－12月期	12.7	23.1	-1.9	13.5
2019年 1－3月期	-7.5	2.4	-5.8	17.7
4－6月期	-19.3	8.0	3.4	24.0
来期見通し	-7.0	-1.4	-1.7	10.7

(8) 設備投資の動向

—製造業、非製造業とも低下—

2019年4～6月期の「設備投資BSI」は、製造業が前期比15.3ポイント低下の△1.8、非製造業は同4.8ポイント低下の△6.0となった。

製造業では、食料品、鉄鋼、電子部品・デバイス、精密機械などで、非製造業では、建設業全般、運送業などで低下した。

製造業は、飲料でパッキング装置、パルプ・紙で老朽化更新や省エネ、精密機械でメッキ装置増設やサーバー増がみられた。

非製造業では、建設業で、車輛購入や廃棄中間処理機械購入などがみられた。

卸売業では、建築材料で本社ビル改修、営業所設置、機械更新などがみられた。

小売業ではスーパーで改築、自動車で車両運搬具購入、事務用品で事務所建設などがみられた。

運輸・サービス業では不動産(賃貸収益物件、倉庫)、車両購入、道路貨物運送で車両購入、トラクターショベル購入、ガスでガス管入替等、不動産賃貸で店舗改装な

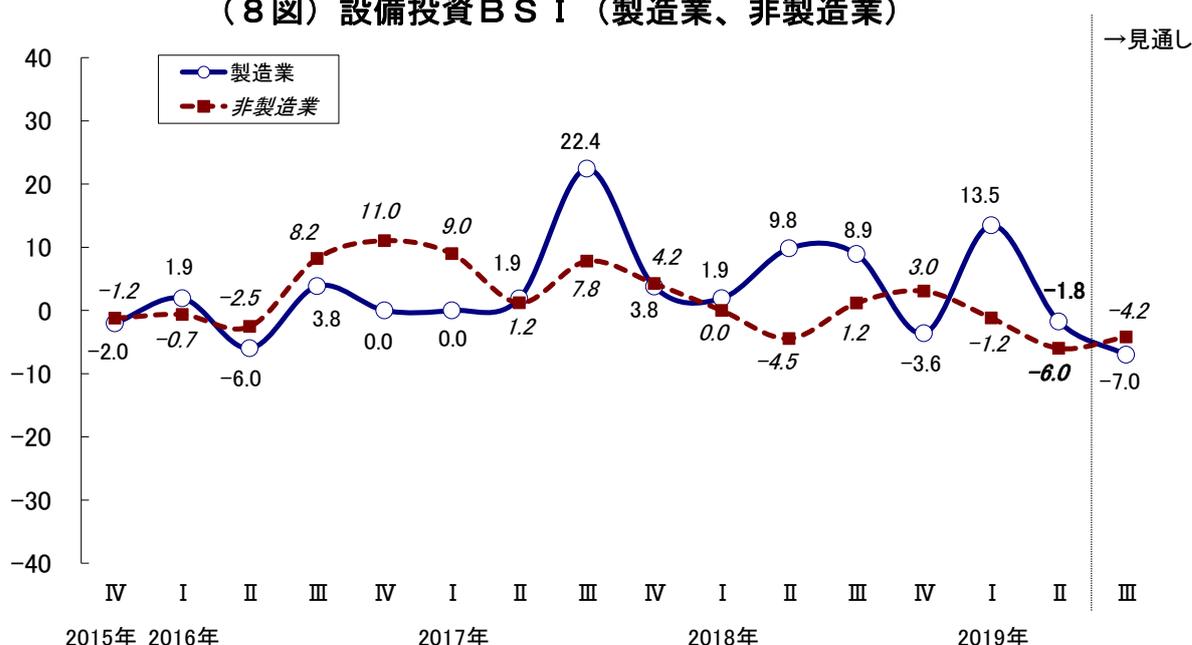
どがみられた。

来期の「設備投資BSI」は、製造業が当期比5.2ポイント低下の△7.0、非製造業が同1.8ポイント上昇の△4.2が見込まれている。

なお今後6カ月間では、食品製造で製造設備やタンク導入、パルプ・紙で老朽化更新や省エネ、精密機械で建物、工作機増設、金型工場改修、造船で外国人向け宿舍建設、建設で車輛や一次加工用機械購入、飲食料品卸で倉庫建設、建築材料卸で本社ビル改修、ITソフト更新、機械更新、スーパーで店舗改装、レジ入れ替え、新店舗建築、リースでレンタル機維持更新、道路旅客運送で営業所他建て替え、道路貨物運送で不動産(賃貸収益物件、倉庫)、車両購入、建物維持更新、ガスでガス管入れ替え、宿泊で客室、宴会場リニューアル、レンタカーで店舗リニューアルなどが予定されている。

(以上、8図参照)

(8図) 設備投資BSI (製造業、非製造業)

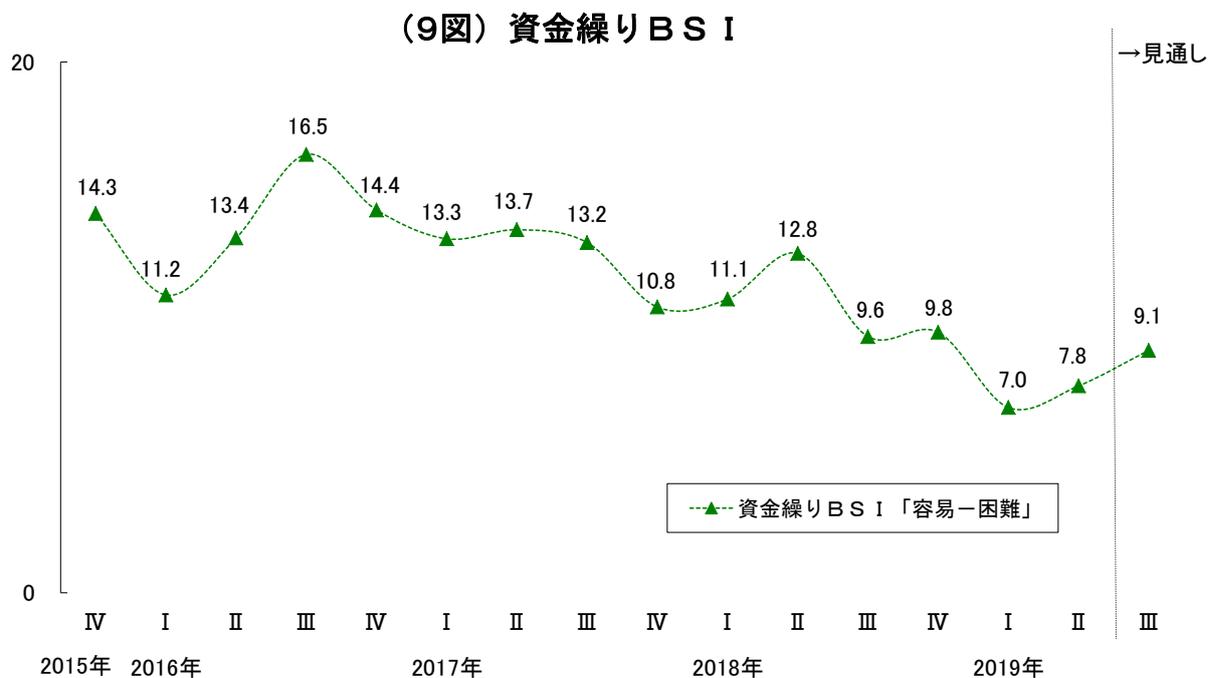


(9) 企業金融の動向 —資金繰りの容易さやや上昇—

2019年4～6月期の「資金繰りBSI」は前期比0.8ポイント上昇の7.8となり、手元資金の資金繰りの容易さがやや上昇した。

来期は当期比1.3ポイント上昇の9.1となる見通しであるが、全体にはほぼ適正範囲内の動きが見込まれている。

(以上、9図、付表 参照)



(付表) 資金繰りBSIの推移

	資金繰りBSI (容易-困難)
2018年 4 - 6 月期	12.8
7 - 9 月期	9.6
10 - 12 月期	9.8
2019年 1 - 3 月期	7.0
4 - 6 月期	7.8
来期見通し	9.1

(10) 地区別の状況 —「業況BSI」県南、津軽地区上昇、青森地区低下—

・青森地区

「業況BSI」が前期比2.0ポイント低下の△10.3となった。

そのほか「生産高BSI」が同10.9ポイント低下の△17.6、「出荷高BSI」が同5.1ポイント低下の△11.8、「売上高BSI」が同10.9ポイント上昇の3.6、「受注高BSI」が同10.2ポイント低下の△33.3などとなった。

・津軽地区

「業況BSI」が前期比2.9ポイント上昇の△21.7となった。

そのほか、「生産高BSI」が同6.3ポイント低下の△15.4、「出荷高BSI」が同34.6

ポイント上昇の△15.4と大幅に上昇、「売上高BSI」が同11.8ポイント上昇の△17.9、「設備投資BSI」が同1.3ポイント低下の△9.4などとなった。

・県南地区

「業況BSI」が前期比2.5ポイント上昇の△6.1となった。

そのほか「生産高BSI」が同14.7ポイント低下の△18.5、「出荷高BSI」が同10.7ポイント低下の△22.2、「売上高BSI」が同0.1ポイント上昇の△2.4、「受注高BSI」は同79.5ポイント低下の△38.5と大幅に低下した。

(以上、1表参照)

(1表) 地域別BSIの推移

	業況BSI			生産高BSI			出荷高BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2018年 4－6月期	-4.7	-22.6	5.0	-7.7	-50.0	7.7	-23.1	-15.4	19.2
7－9月期	-18.0	-29.6	-2.5	0.0	-53.8	38.5	-12.5	-78.6	30.8
10－12月期	3.5	-1.5	-2.5	-33.3	-28.6	0.0	-33.3	-20.0	16.0
2019年 1－3月期	-8.3	-24.6	-8.6	-6.7	-9.1	-3.8	-6.7	-50.0	-11.5
4－6月期	-10.3	-21.7	-6.1	-17.6	-15.4	-18.5	-11.8	-15.4	-22.2
来期見通し	-16.3	-20.3	-6.0	-17.6	-15.4	-11.1	-11.8	-7.7	-11.1
	売上高BSI			受注高BSI			在庫投資BSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2018年 4－6月期	-15.8	-8.3	-11.9	26.7	-53.8	0.0	9.8	-12.1	4.1
7－9月期	-19.0	-15.0	-4.8	28.6	-23.5	-8.3	8.9	14.7	4.2
10－12月期	10.5	8.6	-2.6	8.3	-37.5	21.4	11.1	34.4	17.0
2019年 1－3月期	-7.3	-29.7	-2.5	23.1	-13.3	33.3	7.4	-8.8	-6.4
4－6月期	3.6	-17.9	-2.4	-33.3	-37.5	-46.2	13.5	-21.9	-10.4
来期見通し	-12.7	-10.3	-2.4	-46.7	-43.8	-42.9	1.9	-21.9	2.1
	設備投資BSI			採算BSI			資金繰りBSI		
	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南	青森	津軽	県南
2018年 4－6月期	-6.6	-14.3	14.5	-8.5	-22.0	-7.8	14.5	3.4	17.9
7－9月期	3.6	-2.9	7.8	-8.3	-22.4	-6.6	8.2	0.0	19.5
10－12月期	2.5	6.5	-3.9	-6.3	-14.0	0.0	8.8	0.0	17.9
2019年 1－3月期	1.3	-8.1	11.4	-11.3	-21.3	-1.3	5.1	-3.4	16.9
4－6月期	-3.7	-9.4	-2.5	-8.3	-20.6	-3.7	7.1	-4.7	18.3
来期見通し	-6.2	-12.7	2.5	-13.3	-16.9	-7.5	9.5	0.0	16.3

2. 経営上の問題点

—「人員不足」が4期連続で最多—

経営上の問題点は、「人員不足」が50.0%と4期連続で最多となった。

以下は、「競争の激化」が43.2%、「売上・受注不振」が39.3%、「人材育成・技術継承」が37.6%、「設備の老朽化」が24.8%、「仕入単価上昇」が24.8%、「営業力不足」が24.4%、「収益低下」が20.1%などと続いた。

当期は、「売上・受注不振」を始め、「競争の激化」、「人員不足」、「営業力不足」などで、前期に比べて回答比率が上昇した一方、「仕入単価上昇」、「設備の老朽化」、「事業承継」、「人件費増大」などでは回答比率が低下した。

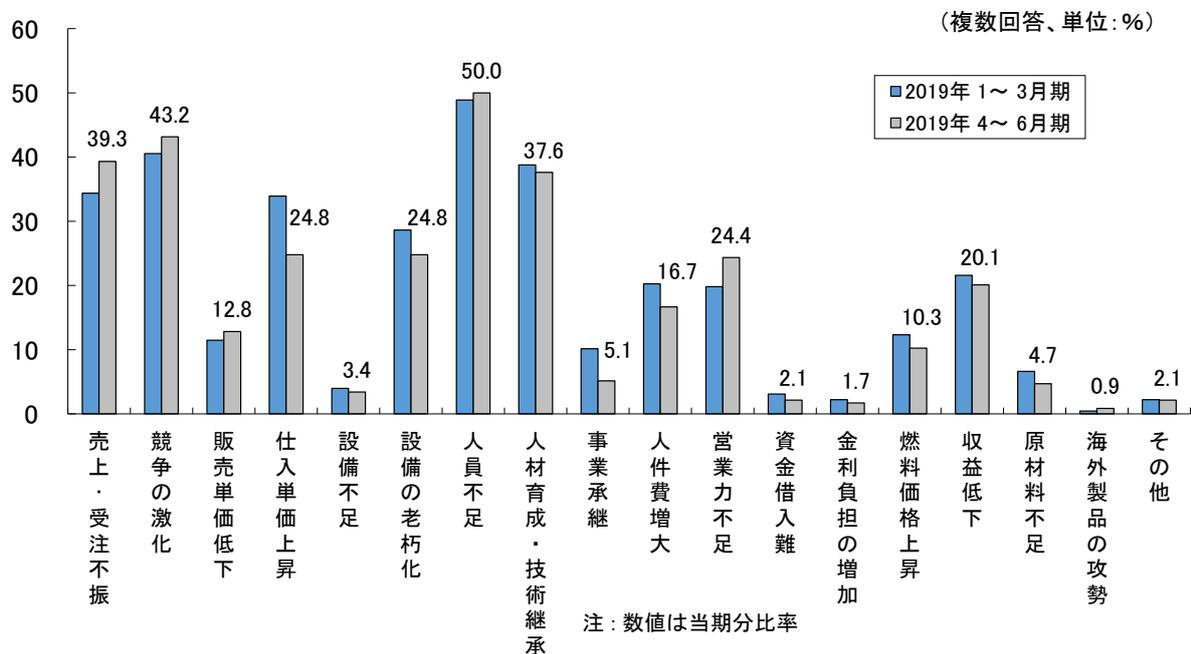
産業別に、トップにあげられた経営上の問題点は、製造業では「売上不振」、建設業と卸売業では「競争激化」、小売業と運輸・サービス業では「人員不足」となった。

また、製造業では「仕入価格上昇」と「設備の老朽化」、建設業では「人員不足」、卸売業では「売上不振」、小売業では「競争激化」、運輸・サービス業では「燃料上昇」や「設備の老朽化」の回答比率も高かった。

なお、運輸業の「人員不足」は、今期は66.7%と前期の78.6%より低下したものの、依然として高い数値となっている。

(以上、10図、付表 参照)

(10図) 経営上の問題点



(付表) 経営上の問題点

(複数回答、単位：%)

	売上・受注不振	競争激化	販売単価低下	仕入単価上昇	人員不足	人材育成・技術継承	人件費増大	収益低下
2018年 4 - 6 月期	40.8	41.7	12.6	32.3	40.8	34.1	15.2	22.9
7 - 9 月期	37.7	37.7	11.3	35.1	52.7	37.7	15.9	18.8
10 - 12 月期	36.0	35.1	11.0	32.5	53.5	36.4	16.7	20.6
2019年 1 - 3 月期	34.4	40.5	11.5	33.9	48.9	38.8	20.3	21.6
4 - 6 月期	39.3	43.2	12.8	24.8	50.0	37.6	16.7	20.1

3. 来期の見通し

－「業況BSI」、「採算BSI」ともに低下－

来期(2019年7～9月期)の「業況BSI」は、全産業ベースで当期比1.7ポイント低下の△13.9となる見通しである。

産業別では、建設業が同15.1ポイント低下の△37.8、卸売業が同13.4ポイント低下の△19.2、運輸・サービス業が同3.8ポイント上昇の9.4と見込まれる。一方、小売業は同13.3ポイント上昇の△20.0、製造業は同6.9ポイント上昇の△8.6と見込まれる。

来期(2019年7～9月期)の「採算BSI」

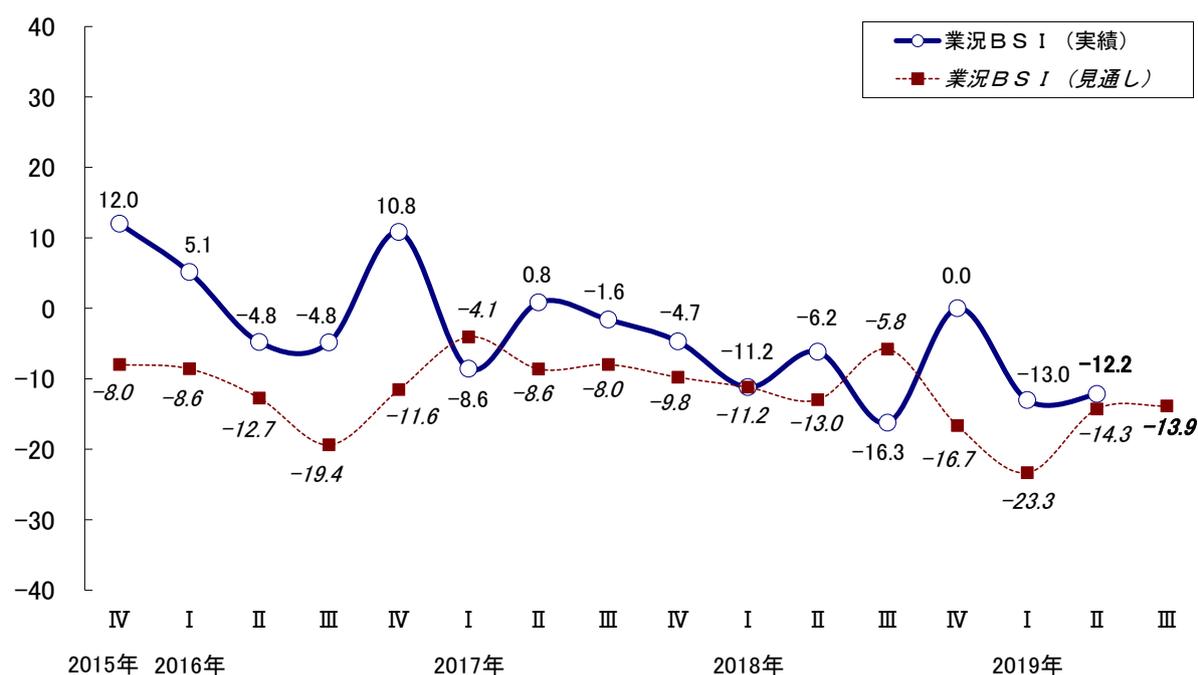
は、全産業ベースで当期比2.3ポイント低下の△12.3となる見通しである。

産業別にみると、小売業が同6.9ポイント低下の△27.6、建設業が同5.2ポイント低下の△23.8、卸売業が同2.0ポイント低下の△4.0、運輸・サービス業が同1.9ポイント低下の△6.0と見込まれる。

一方、製造業は同1.7ポイント上昇の△8.8と見込まれる。

(以上、11図、付表 参照)

(11図) 業況BSIの見通しと実績の推移



(付表) 業況BSI、採算BSIの来期見通し

		製造業	建設業	卸売業	小売業	運輸・サービス	合計
業況BSI	2019年4～6月期	-15.5	-22.7	-5.8	-33.3	5.6	-12.2
	来期見通し	-8.6	-37.8	-19.2	-20.0	9.4	-13.9
採算BSI	2019年4～6月期	-10.5	-18.6	-2.0	-20.7	-4.1	-10.0
	来期見通し	-8.8	-23.8	-4.0	-27.6	-6.0	-12.3